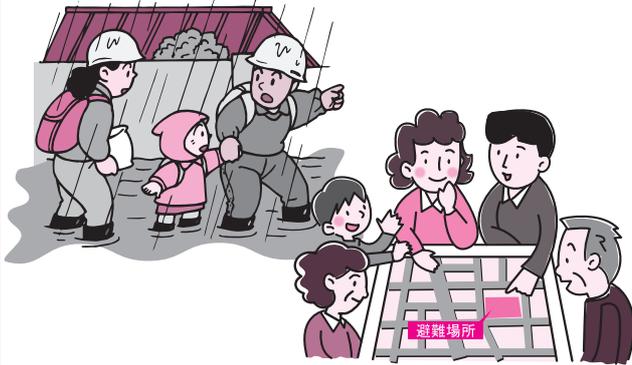


## 平成17年度主な事業

※事業費は、万円単位に切り上げています。

### ハザードマップの作成



自然災害から市民の生命や財産を守り、災害に強いまちづくりを進めるため、被害予測や避難場所などを掲載したハザードマップを作成します。

近年、台風や地震などにより日本各地で大きな被害が発生しています。登別市でも過去に大雨で大きな被害を受けており、市民に防災意識を高めてもらうとともに、今後、大雨や地震、津波、火山噴火などの自然災害が発生した場合、被害を最小限にすることを目的としています。

作成は、平成17・18年度の2カ年で行う予定で、17年度は各災害の想定に基づく危険箇所の特特定とハザードマップの作成方法の検討を行います。

(平成17年度事業費：402万円)

▶問い合わせ 総務グループ (☎ 1130)

### 登別保育所運営管理業務の委託

7月から登別地区で始まる幼保一元化モデル事業を円滑に進めるため、登別保育所の運営管理業務を、併設される私立幼稚園に委託します。

幼保一元化モデル事業は、保育所と幼稚園が連携と融合を図りながら、子どもの保育と教育を行うもので、7月に登別本町に開所する新しい登別保育所で実施する予定です。

同保育所では、新たに0～2歳児の保育を行うほか、併設される私立幼稚園の建物も一体的に活用し、保育所児と幼稚園児を混合した年齢別クラスの導入や行事の合同実施、合同給食などを行います。

(平成17年度事業費：5,483万円)

※委託は、幼保一元化モデル事業に先立ち、現在の登別保育所で4月から実施します。

▶問い合わせ 子育てグループ (☎ 5634)



▲建設中の新しい登別保育所



### 公共施設アダプトプログラムの実施



▲アダプトサイン

市民の皆さん(2人以上のグループ)に公共施設(道路や公園・広場、河川敷)の里親になっていただき、ボランティアで清掃美化活動を行うアダプトプログラム『のぼりべつクリーン&フレッシュ事業』を4月から実施します。

この事業は、市や市民、企業、町内会等が役割分担し、身近な生活環境を改善し、協力して、きれいなまちづくりを推進することを目的としています。

里親は、公共施設の清掃や除草、花の手入れ、ごみ(空き缶やたばこの吸い殻、紙くずなど)の収集・廃棄を行い、市は、活動に必要な用具の提供、ボランティア保険の加入、アダプトサイン(看板)の設置などの支援を行います。

(平成17年度事業費：34万円)

▶問い合わせ 管理グループ (☎ 3230)

### 消防緊急通信指令設備の整備

年々増加している携帯電話からの119番通報を登別市消防本部が直接受信することができる緊急通信指令設備を導入します。

現在、胆振・日高管内から携帯電話で119番通報をした場合、すべて苫小牧市消防本部が受信するため、各消防本部への情報伝達や発災場所の特定に時間がかかっていましたが、この設備の導入で、より迅速な対応と出動が可能となります。

(平成17年度事業費：93万円)

#### 消防本部からのお願い

119番は、火災や救急の緊急通報専用の電話です。いたずら電話は絶対にやめましょう。

※問い合わせは消防本部の代表電話におかけください。

▶問い合わせ 消防本部 (☎ 9611)

